嫌な予感はしてたよ
明らかに様子が
変だったもんな…

だけど好きだから
信じてたんだぜ？
お前を失いたくなった

この階段の先に
答えがある

まだ期待してて
いいよな？

きっとこの扉を開けたら
いつもみたいに
真っ直ぐな笑顔で

俺を安心させて
くれるんだろ？

はぁ
はぁ
はぁ
ふーっ
ふーっ
あッ
イグッ
んおお
おッ
おおおッ♡
ビクッ
ブッおおおおッ
あッ
りさ…
なんでだよ……

俺とりさは
幼稚園の頃からの
幼馴染み
結城りさ（4）
遠藤ヒカル（4）
小中高と
ずーっと一緒
母親同士が仲いいこともあり
俺たちはまるで兄妹のように
常に一緒に遊んでた
だけど俺は・・・
ずっと妹みたいだと
思っていたりさを
いつしか
好きになっていた

りさを好きだという
気持ちを伝えられないまま
俺たちは
高校を卒業した
卒業証書
卒業証書
春からはお互いに
別の大学に通う
ずっと一緒も
もう終わり

ついに卒業しちゃったね
本当、あっという間だったよな・・・
春からは私もヒカルも大学生か・・・早いなぁ・・・
・・・早く彼氏作れよ？
もうっうるさい笑

実家から駅3つ離れた
場所で一人暮らしを
始めるから
ヒカルー
この本は
どこにしまう？
そこの段ボールに
詰めてくれー
家が隣だったり
さとも中々
会えなくなる
ヒカルって
バカなのに
意外と読書家
だよね？
よっこらしょ
けっ
ほっとけ
お前もすぐ
俺の家に来ちゃうん
じゃねえの？
私が恋しくて
すぐに帰って
くるなよ？
正直言って
めちゃくちゃ
寂しい・・・

ずっと一緒だったりさとただの兄妹で終わりたくない
おいっそこの少年
何をボーっとしておる笑
俺はりさの彼氏としてずっとそばにいたいんだ！

え!?
りさ！
大好きだ！
ずっと大切にする
だから俺の彼女として
そばにいて欲しい！
ヒカル・・・
凄く嬉しい!!
私も大好き!!

ほ、ホントか!?
ははっ！
マジかよ!!
もう！
ずっと待って
たんだよ！
この時は
幸せの絶頂
だった
と、いうことは
ずっと・・・？
両想い
だったんだね
実際めちゃくちゃ
舞い上がっていたと
思う

お互い別々の大学に通いながらで忙しかったけど、順調だった
穏やかだなぁ
ふふっお昼寝したくなっちゃうね
りさと色んな場所に行ったっけ
ぐすッ
泣いてるりさ可愛いなぁ
これって何て花？
これは確か・・・
楽しすぎてあっという間の一年だったよ
凄い上手に出来た♡
・・・上手すぎだろ笑

そして
俺たちは結ばれた

学校生活も
恋愛も
すべてが順調だった
だけど、大学2年生に
なったタイミングで
同時にりさの様子が
少しずつ変になっていた

おつかれ。今日、学校どうだった？
既読
19:00

りさ

あ、うん。普通だったよ。
19:56

最近ずっと返信遅いけど、大丈夫？
なんかあった？
既読
19:59

りさ

ごめん、ちょっと色々あって。
20:20

色々って？前までみたいに話してくれなくなったから、心配してる。
既読
21:25

りさ

うーん…大したことじゃないよ。
21:40

いよ。
21:40

俺には言えないこと？

なんか、避けられてる感じする。
既読
21:43

りさ

そんなことないよ。
21:44

じゃあ最近何してるの？

夜に連絡つかない日多いけど。
既読
21:45

りさ

ちょっと外出してただけ。
21:46

誰と？
既読
21:47

りさ

友達だよ。
21:48

前は全部普通に話してくれてたのに、最近は隠すようになったよね。
疲れてるだけならいいけど…

もしかして、俺に言いづらいこと？

既読
21:51

りさ

……ごめん。
ちょっと
考える時間ほしいかも。

21:59

考えるって何を？
俺たちのこと？

既読
22:00

りさ

うん…。

22:01

最近の態度でなんとなく気づいてたけど…
誰かいるの？

既読
22:02

づいてたけど…
誰かい
るの？

既読
22:02

りさ

違うよ。
ただ…ちょっ
と距離置きたくて。

22:05

距離置きたい理由は？

はっきり言ってほしい。

既読
22:07

りさ

……今はまだ言えない。

22:10

言えない理由があるってこ
とは、
俺じゃない誰か
関係してるの？

既読
22:12

なにか
変だ・・・
こんなよそよそしい
りさ初めてだ・・・
どうしちゃったんだよ・・・
りさ・・・
不安で押し潰されそうだった・・・

りさ…
今どこで誰と
何をしてるんだよ…
××××さん
もういい？
はーっ♡
はーっ♡
はーっ♡
よーし
咥えていいぞ
はーっ♡

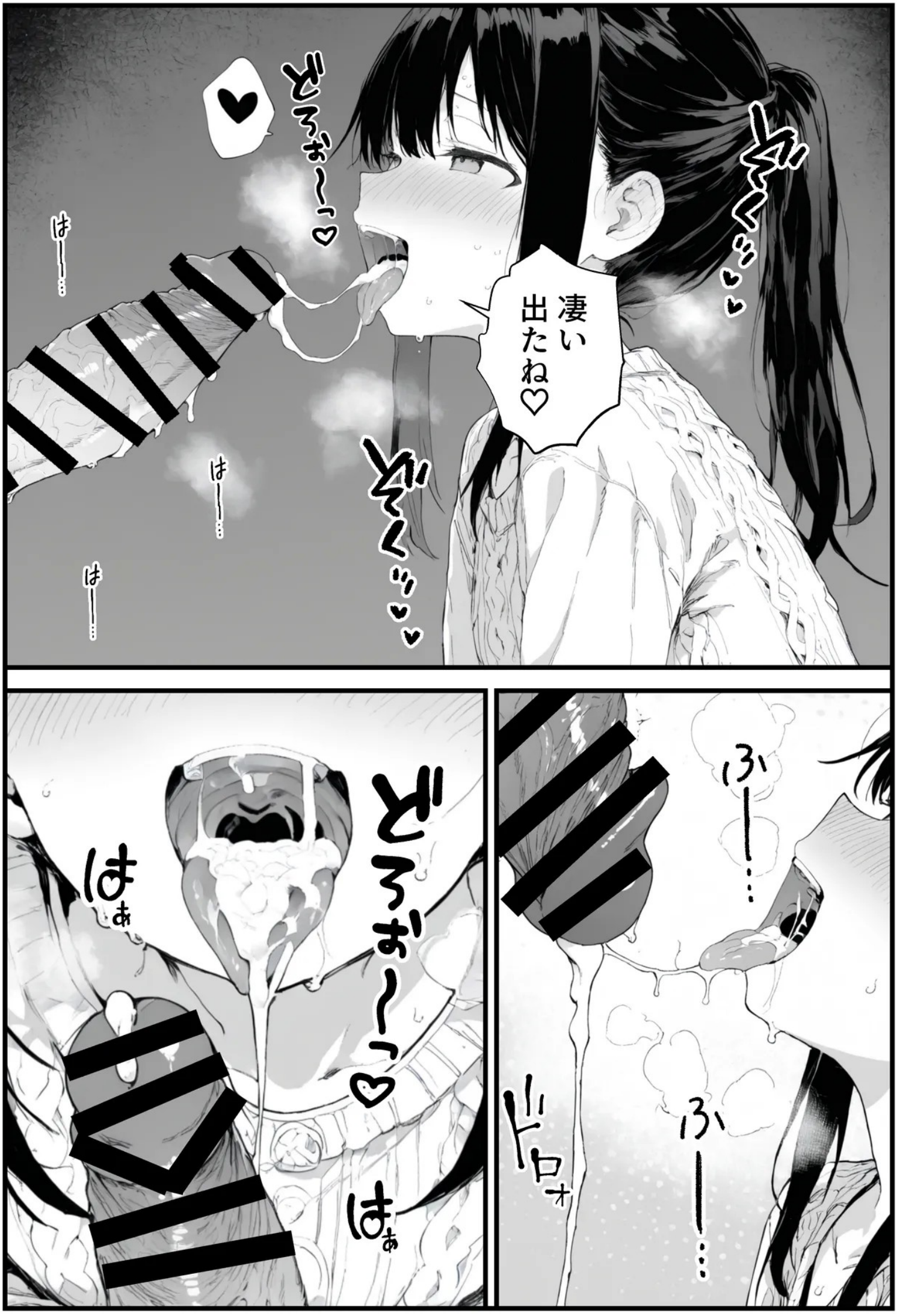
あぁ・・・♡
凄い男の臭い♡
まずは亀頭を
舌で刺激して
はい♡
×××さん
し、
お汁が
溢れてるよ？

クチュッ♡
おおっ
上手になったね
りさちゃん♡
ぐ♡
はぁ♥はぁ♥
ぢゅぽっ♡
ぢゅぽっ♡
うわぁっ…
そんな奥まで……
んっ…
ずぷっ♡
ずぷっ♡

あっ……♥
ふっ♥
んっ♥
シコ
シコ
シコ
りさちゃん…
それ激しすぎっ
しこ
しこ
しこ
しこ
しこ
は～っ♡
ヂッ♡
ヂッ♡
ヂッ♡
ぢゅぽっ♡
ぢゅぽっ♡
ぢゅぽっ♡
は～っ♡

先っちょ気持ちいい？
ちゅぽっ♡
シコシコ
ちゅぽっ♡
んっ
…めっちゃ気持ちいい
ビクッビクッ
激しくするねっ
はぁ…
ちゅぽっ♡
ちゅぽっ♡
ちゅぽっ♡
ちゅぽっ♡
うおっそれヤバいッ
ビクッビクッ
精子の臭い♡
出そう？♡
ちゅぽっ♡
ちゅぽっ♡
ちゅぽっ♡
ちゅぽっ♡

おっ…レッツレッツ
ちゅぽっ♡
ちゅぽっ♡
ちゅぽっ♡
ちゅぽっ♡
で、出るッ!!
ビュルルルルッ
ビュ
ビュ


ぞくぞく♡
凄い
出たね♡
ぞくぞく♡
は——…
は——…
は——…
どろぉ〜♡
ほ——…
ほ——…
ドロォ
どろぉ〜♡
はぁ
はぁ

じゃあ次は
りさちゃんの
番だね♡
あッ♡
やッ♡
あッ♡
はッ♡
い、いきなり
膣内ぁ・・・♡
ふーっ
ふーっ
あれ？
りさちゃん
もうぐちょぐちょ
じゃーん笑

この入口が弱いんだよね
びくんっ♡
あっ♡
あぁっ♡
おっ…ぐっ…♡
あっ♡
びくんっ♡
びくんっ♡
クリめっちゃ勃起してんじゃん笑
ぞくぞくっ♡
ぷしゅっ
ぞくぞくっ♡
おっ
んぐっ♡
あっ♡
あっ♡
そこ♡
すぐイキそうッ

よしッ！
イケッイケッ
ぐちゅっ♡
ぐちゅっ♡
ぐちゅっ♡
んおおおっ♡
おおおぉ♡
んおおお
んおおおっ♡
おっ♡
おっ♡
おっ♡
ビクビクッ♡

ビクビク
ビクッ
イクッ
イクッ
んおお
おっ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ぷしゅ
んん♡
ふっ♡
う♡
あぁ…♡
気持ちいい♡
ヒカル…ごめんね

私がこうなって
しまったのは・・・

お母さんの
再婚がきっかけ
でした

ご飯
出来たよ♪
お義父さんも凄く
優しい人ですぐに
打ち解けることが出来た
美味しかった
ねー♪
ごちそうさま
さまでした。

お義父さんと
住み始めてから
半年が立った頃
その時期は
ヒカルに会えないときが
続いていて、
夜な夜な自分で自分を
慰めていたことが多かったの
ビッ
ビッ
ビッ
ビッ
ん
あ、
はーっ♡
あ、
はーっ♡
ガチャ…
・・・りさ
ちゃん？
え？
お義父さん？

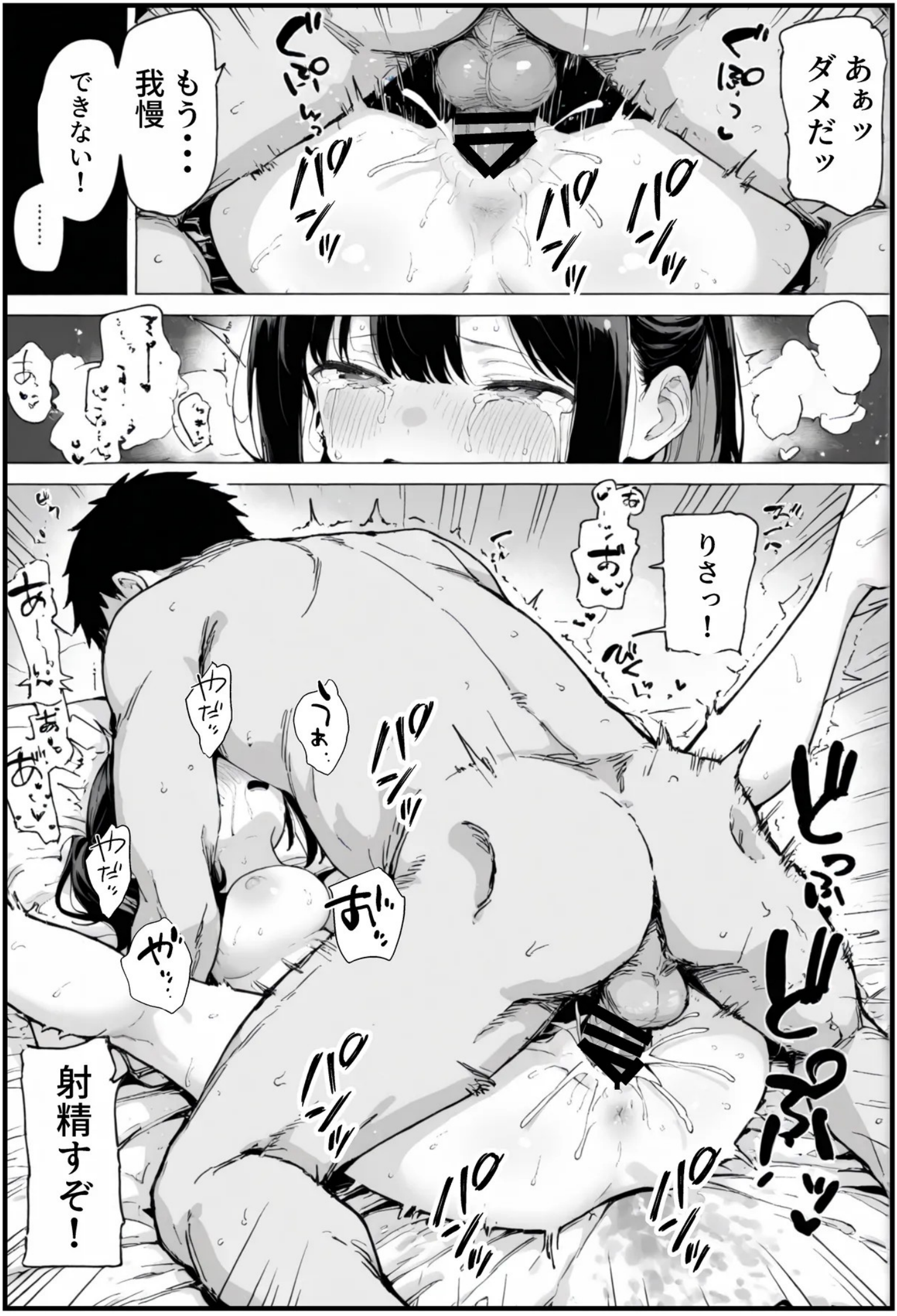
その日家族が壊れた

お、お願い
やめて・・・
おッ～♡
り、りさちゃん
もう無理だッ
ばん♡
ばちゅん
ぐぐぐ
おっ♡
おっ♡
あ♡
あ♡
お義父さん！
お願いッ！

やめて・・・
陽子とも
全然してないんだ
はぁっ
はぁっ
ばちゅっ
ばちゅっ
はぁっ
はぁっ
すぐ終わらすから
りさちゃんだって
溜まってるんだろ？
ぬちっ
ぐぷっ
そんなことないっ
それよりお母さんに
聞こえちゃう

陽子はぐっすり寝てるよ
やだやだ
お願い抜いて！
どびゅっ…♡
ぶぽっ♡
あ…♡
りさちゃんめちゃくちゃ濡れてるじゃん！
んぐっ
あッ
やぁッ

気持ちよくなってきたかい？
ぱんぱん
ぱんぱん
ぱんぱん
お
んあッ
気持ちよくなんかないよっ！
やだッ
やめあッ
うっ！すげえ締まるッ
ズポズポ
お義父さん・・・もうやめてッ！


あぁッ
ダメだッ
ぐぽっ
ぐぽぐぽっ
パンッ
パンッ
パンッ
もう・・・
我慢
できない！
……
りさっ！
おぉ
ぴくぴく
ヤだッ
うぉ…
パンッ
おッ
ヤだッ
や…
どっぷ
どっぷ
パンッ
パンッ
パンッ
射精すぞ！

中は
ダメッ!!
ぱんっ
ぱんっ
ぐぽっ
パンッ♥
ぐぽっ
ぉぉ♥
ずちゅるるるぅ
嫌ぁぁあッ!!
ぱんっ
ぱんっ
嘘でしょ・・・
赤ちゃん
出来ちゃう・・・
ヒカル・・・
ごめんね
ごめんね・・・

その日を境に
義父は私を何度も
抱くようになった

お母さんやヒカルに
バレたら困る私は
抵抗できずに抱かれ続けた

りさちゃん
大分慣れてきたね
最初はあんなに
キツキツだったのに
もう
こんなに
馴染んでる
ダメッ…
ヤダ…気持ちい…
あぁっ
そこっ

ん？
ここかな？
くにゅ
ばんっ
おおっ
締まるぅ♡
ぶーっ
ぶーっ
ハァハァ
どうしよぉ・・・
き、気持ちいい・・・♡
はぁ
はぁ
はぁ

そんなに
喘ぎ声あげたら
おぉッ♥
おッ♥
はァン♥
おッ♥
おぉ♥
あッ
ぐぅ〜ッ♥
パンッ♥
パンッ♥
パンッ♥
パンッ♥
パンッ♥
お母さんに
聞こえちゃうぞ

パンッ
ジュプッ
あ゛ッ♥
ビクッ
パンッ
ジュプッ
パンッ
あ゛ッ♥
あ゛ッ♥
ビクッ
パンッ
パンッ
ドチュッ
♥
んぐ♥
ビクッ
おお゛♥
んひ♥
パンッ
ドチュ
ビクッ
おンッ♥
パンッ
パンッ
パンッ
ヌポッ
♥
じゅぷ
ヌプッ
じゅぷっ
パンッ
パンッ
イグッ
おっ♥
イグッ
んん♥
あっ♥

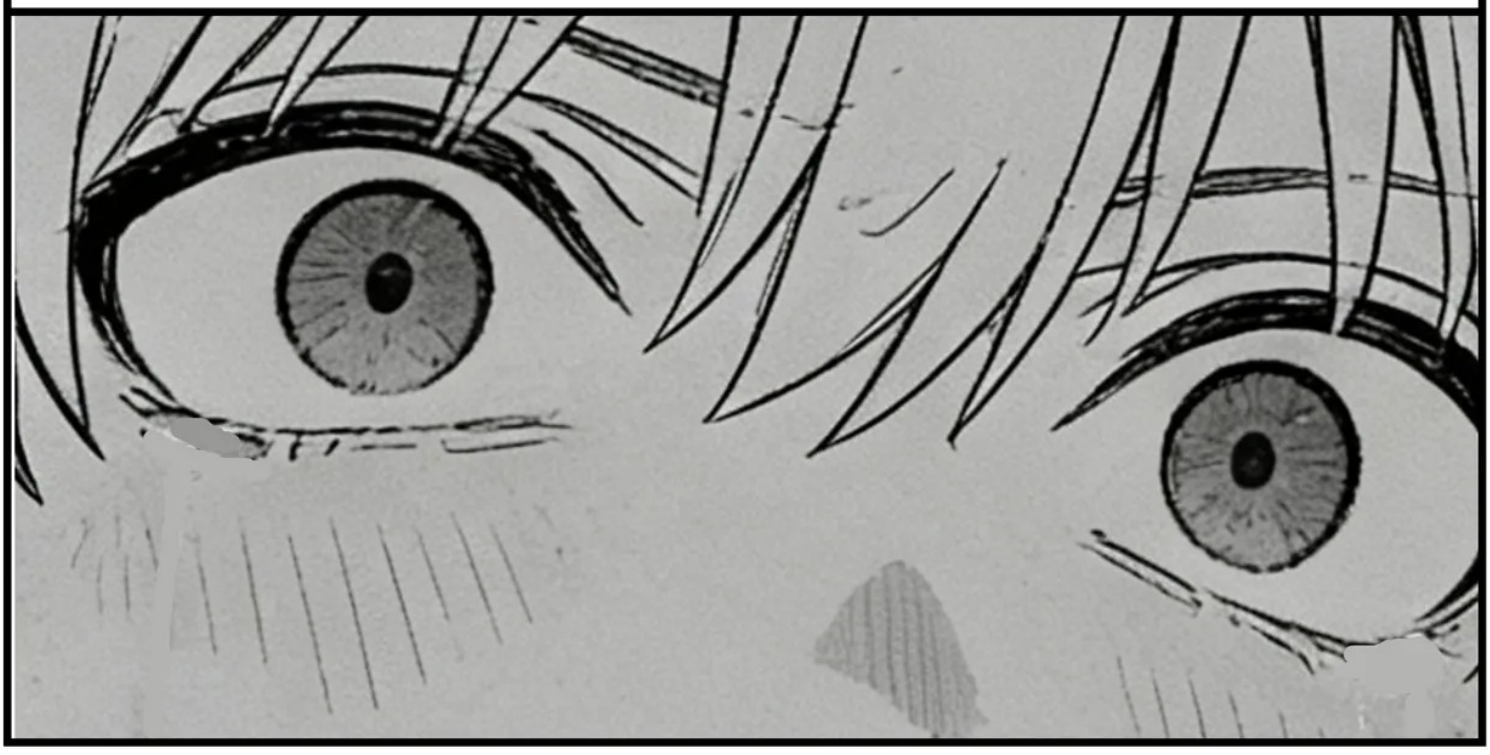
あっ♥
おっっっ♥
パンッ♥
パンッ♥
パンッ♥
パンッ♥
そ、それッ♥
お、おかしくなりゅ♥♥
りさっ！
そろそろ
イクぞ！
パンッ♥
パンッ♥
パンッ♥
パンッ♥
おぉ♥
あぁっ♥♥
何か…くる…♥
凄いの…♥
くる…♥

りさっ
出すぞ！
マンコ♥
締めろッ
まっ…て
中…ダメ…
あ♥
ぱんっ
ビッ
ビッ
ビッ
ビクーン♥
ビュルルルル
おおお
き、気持ちいい…♥
は〜
は〜

あれから3日
りさと連絡がつかない

家にいると嫌な妄想ばかりしてしまい
居ても立っても居られなくなった俺は
気分転換がてら街に来ていた

そして俺はそこで
りさの様子がおかしくなった
理由を知った



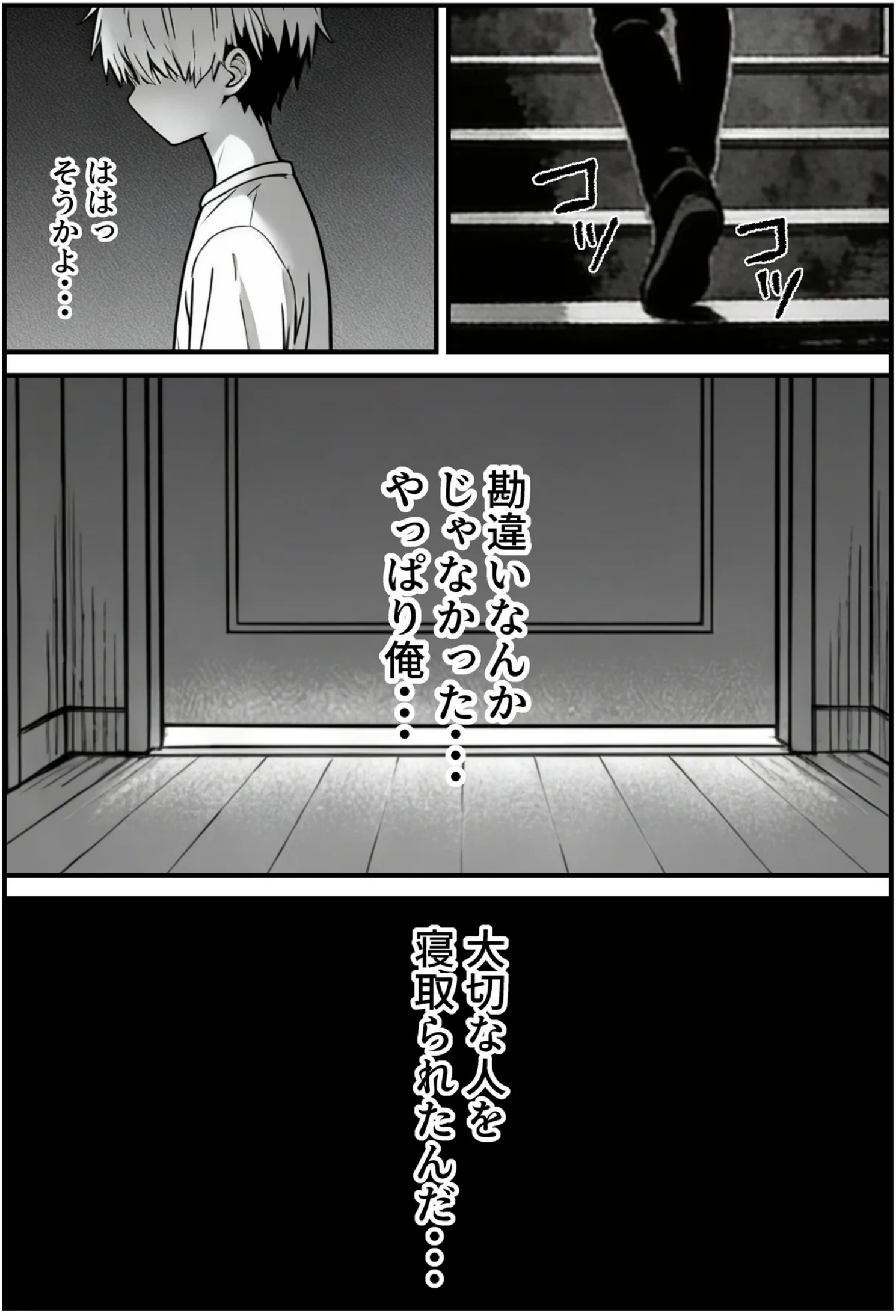
り、りさ!?
隣の男は誰だ!?
しかも、あんな格好・・・

どういうこと
だよ!?
あの人って
確か・・・
マズい、
見つかる！
っっ
ハハッ
それでさー
そうなんだ
あんなに
楽しそうに・・・

でも・・・
あの人って確か
りさの新しい父親じゃ・・・
普通、義理とはいえ
手なんか繋がないだろ
後をつけて
みよう・・・

やっぱり！
りさの家に
向かってる
俺の思い
過ごしか？

でもなんだろう
嫌な予感がする
あっ
カギが
開いてる？
お邪魔します・・・
クソッ
これでただの勘違い
だったら笑えるぜっ


はは…
そうかよ…
コツ
コツ
勘違いなんか
じゃなかった…
やっぱり俺…
大切な人を
寝取られたんだ…

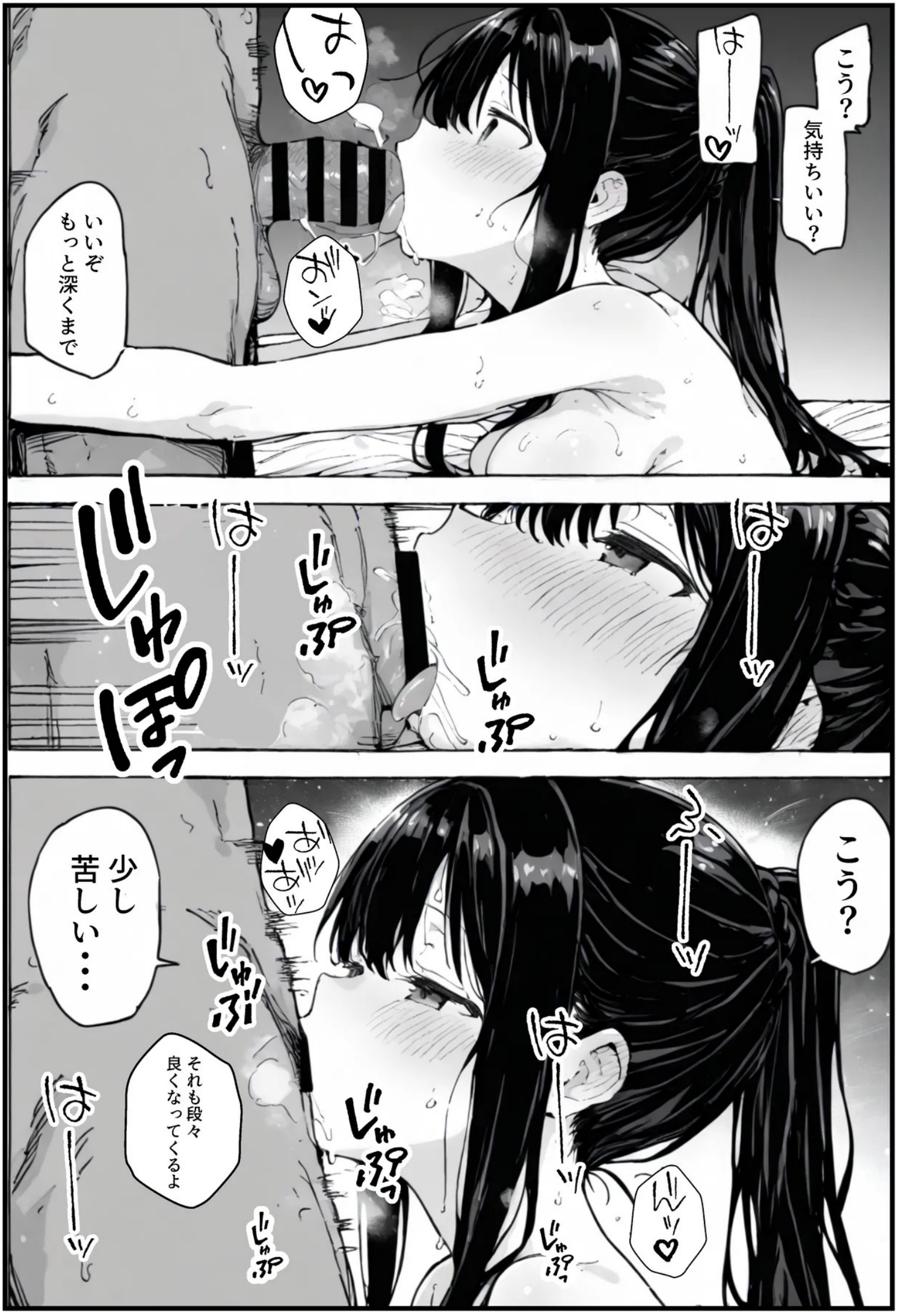
んっ…ん…♥
ぃ…ーッ
ビクッ
イヴッ
ぃッ♥
イヴッ
ビクッ
イヴッ
ぉ…ーッ
ぃ…ぃぃ♥
ニュチュ
ニュチュ
ニュチュ
ニュチュ

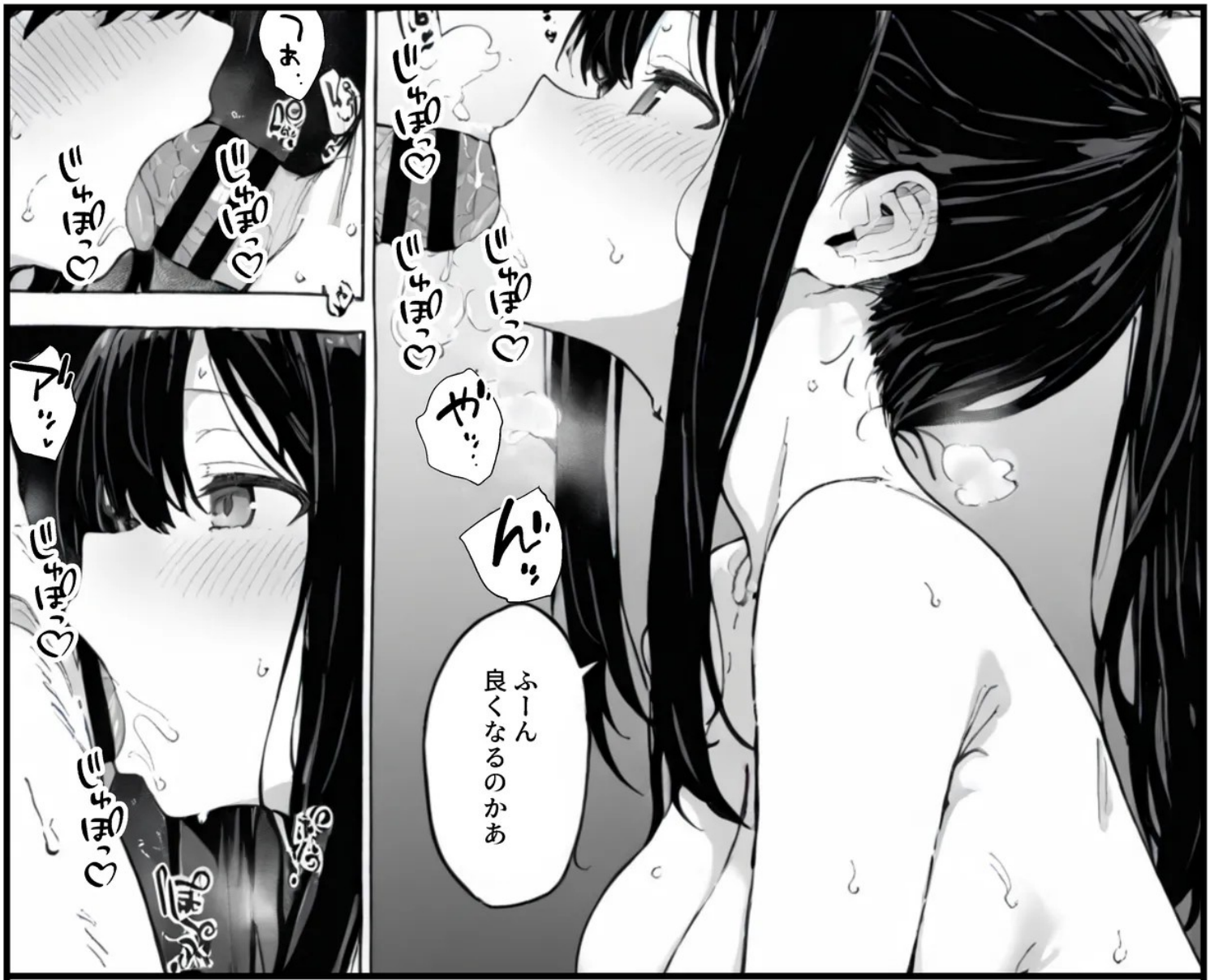
だらしない顔になってるぞ
りさちゃん♥
おンッ♥
あぁ♥
だ、だって…
弱いとこいっぱい弄るから…♡
指も3本入るようになっちゃったね
どこら辺がいいの？
あッ♥
はぁ♥
はッ♡はッ♡
上のとこ…もっと擦って♥

あっ
イグッ♥
ビグ
イグッ♥
ビグ
ここがいいんだ？♡
そ、そこ♡そこ好き・・・♥
ビグ
ビグ
ビグ
ぐちゅっ♡
ぐちゅっ♡
ぐちゅっ♡
あっ…♡…
イグッ♥
ぐちゅっ♡
ぐちゅっ♡
ぐちゅっ♡
イグッ♥
すぐイクようになっちゃったな笑
はぁ
はっはっ♥
はーー
じゃあ次はチンポ咥えて
うん・・・♥
よし♡
まずは口にいっぱい出してやる♡

まずは教えた通り
舌で優しく亀頭を刺激して
んっ
ぐぽ…
は——ッ
れろ
れろ
は——ッ

そうそう
上手になったね
尿道もしっかり
舌で綺麗にして
ふ——
れろ
ふ——
うん♥

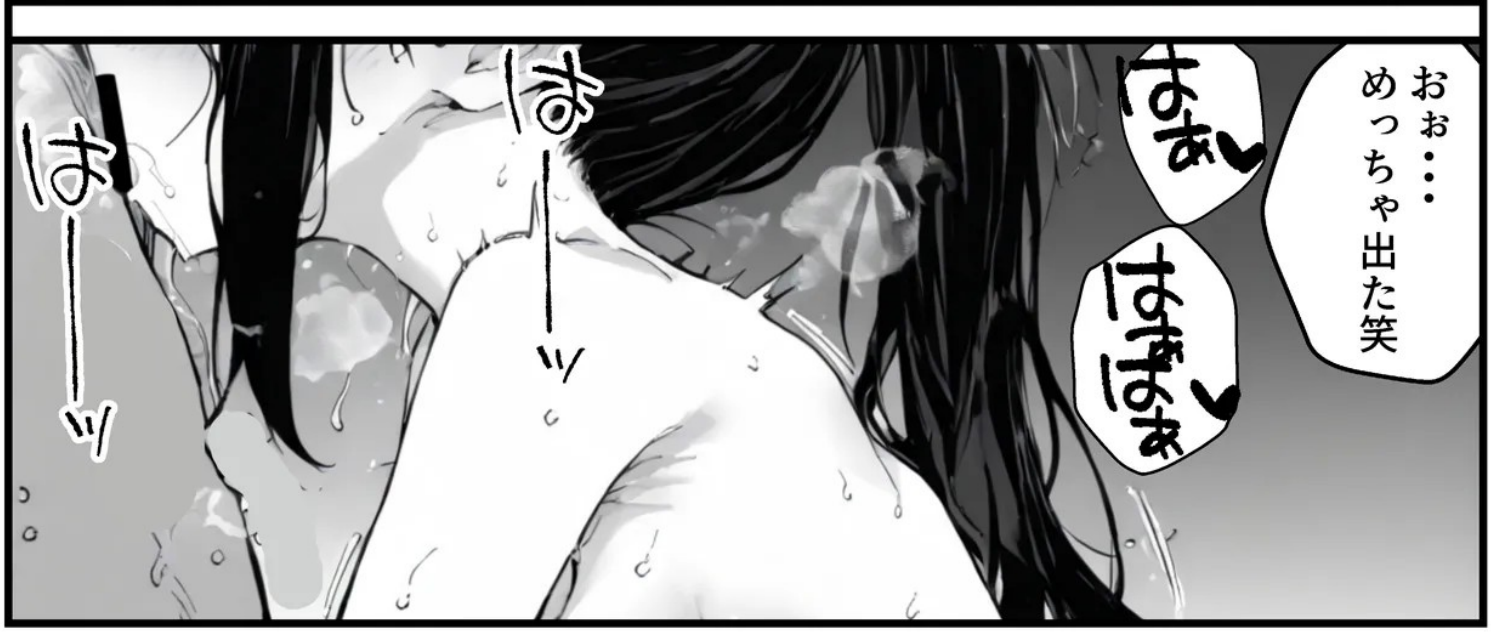

こう？
気持ちいい？
はーーッ♡
ふっ♡
おッ♡
いいぞ
もっと深くまで
じゅぽっ
はーーッ
じゅぷ
こう？
はーーッ
じゅぷ
おッおッ♡
少し
苦しい・・・
じゅぷ
それも段々
良くなってくるよ
はーーッ
じゅぷ
んッ♡
じゅぷ


じゅぽっ♡
じゅぽっ♡
じゅぽっ♡
じゅぽっ♡
じゅぽっ♡
じゅぽっ♡
ふーん
良くなるのかあ

お義父さん
もう・・・♥
ふーーー
我慢できない
かも・・・♥♡♡

やぁッ
じゃあ
そろそろ・・・
じゅぽっ
わっ・・・♡
射精すぞっ!
ぐいぃ
んん〜〜〜ッ
じゅぶ
じゅぶ
じゅぶ
じゅぷっ
じゅぷっ
・・・いっぱい射精して♡
はーーッ
じゅぽっ♡
じゅぽっ♡
あぁ・・・
精子の臭い♡
イクッ!!
はーーッ
じゅぽっ♡
じゅぽっ♡
じゅぽっ♡
はーーッ

んぅ～♥
おぉおッ♥
ガクッ
ぐぷっ♥
ぐぷっ♥
ぐぷっ♥
ビッ
ビッ
ビッ


おぉ…
めっちゃ出た笑
はぁ♥
はぁはぁ♥
おーッ
おーッ

いっぱい出たね…
あっ♥
すーーッ
すーーッ
はぁ〜ッ
ビク…
トロォ〜
糸…♥
あっ
引いてる…♥
凄い匂い…♥
ビクン
ゴロ〜ッ♥
はぁ〜ッ
はっはっ
ムクムク
ぞくぞくぅ♥

りさ・・・
俺のことを
ちゅう♡
ちゅう♡
受け入れてくれてる
みたいで嬉しいよ
本当は・・・
こんな関係・・・
はぁ
はぁ
絶対ダメだって
わかってるんだけど・・・
最近ね
お義父さんと
してると・・・
なんかね・・・
アソコが・・・
キューッて
なるときがあって
そんなときは

頭の中・・・
真っ白になって
ただただ快楽優先に
になっちゃうの・・・
だから・・・
お義父さんのアソコで
ココいっぱい
気持ちよくして・・・♥
ビクビク
は〜
は〜
ヒクヒク

これを入れられたら
私もう・・・
戻れないかも・・・
りさ・・・
いっぱい一緒に
気持ちよく
なろうな♡
きて・・・♥
あ・・・
は〜
は〜

お義父さんの
ソレで
ほ♥
ほ♥
ほ♥
いっぱい
犯してください♥
ビクン
ビクン
ビクン

いっぱい
気持ちよく
してあげるよ
あっ♥
あっ♥
あっ♥
ぷしゃ
3P
ピタン♥

おっ…♡
ズポッ
ズポッ
ズポッ
気持ちいいッ!!

おっ
入れたばかりなのに
もう子宮が
降りてきてるな♡
ぱんっ
ばちゅ
は"ーーッ
は"ーーッ
トッ
トンッ
すぐイキそうに
なっちゃう・・・♡
だめぇ♡♡
ふっ♡

お、お義父さんッ
いき・・・なりっ・・・
激し・・過ぎッ・・・♡
オッ
も・・・もっとっ♡
ゆ・・・っくり・・・
あっあぁッ・・・♡
パンッ♡
パンッ♡
パンッ♡
パンッ♡
パンッ♡
パンッ♡
これから
何回でも
イカせてやる
遠慮なく
イッていいぞ
おッ
やッ・・・

ほらチンポが
子宮に当たってる
ドッ
ドッ
ほらっ
イケイケ
イケイケッ♡
あっ♥
ん…う…っ♥
イグッ♥
おぁあぁあっ
パチュ
パチュ

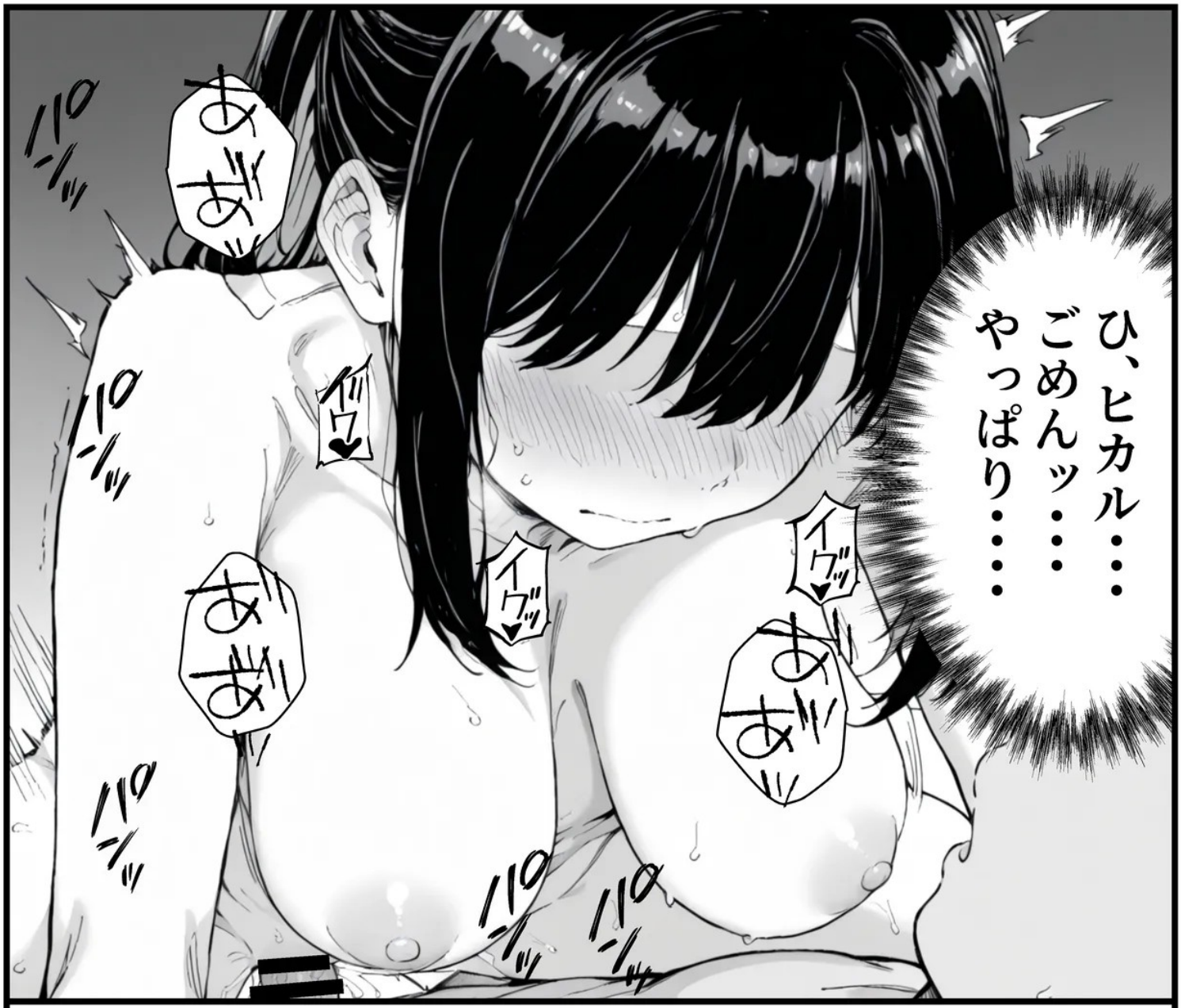
あ゛〜ッ♡
ぱんっ
あ゛ッッ♡
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
んはぁあ〜〜…♡
ビクビクッ♡
い、意識…
飛びそう
…♡
はーーッ
はーーーッ
り、りさ…
流石にお母さん
起きちゃうから…
はーーッ
はーーーッ
だ、だって…

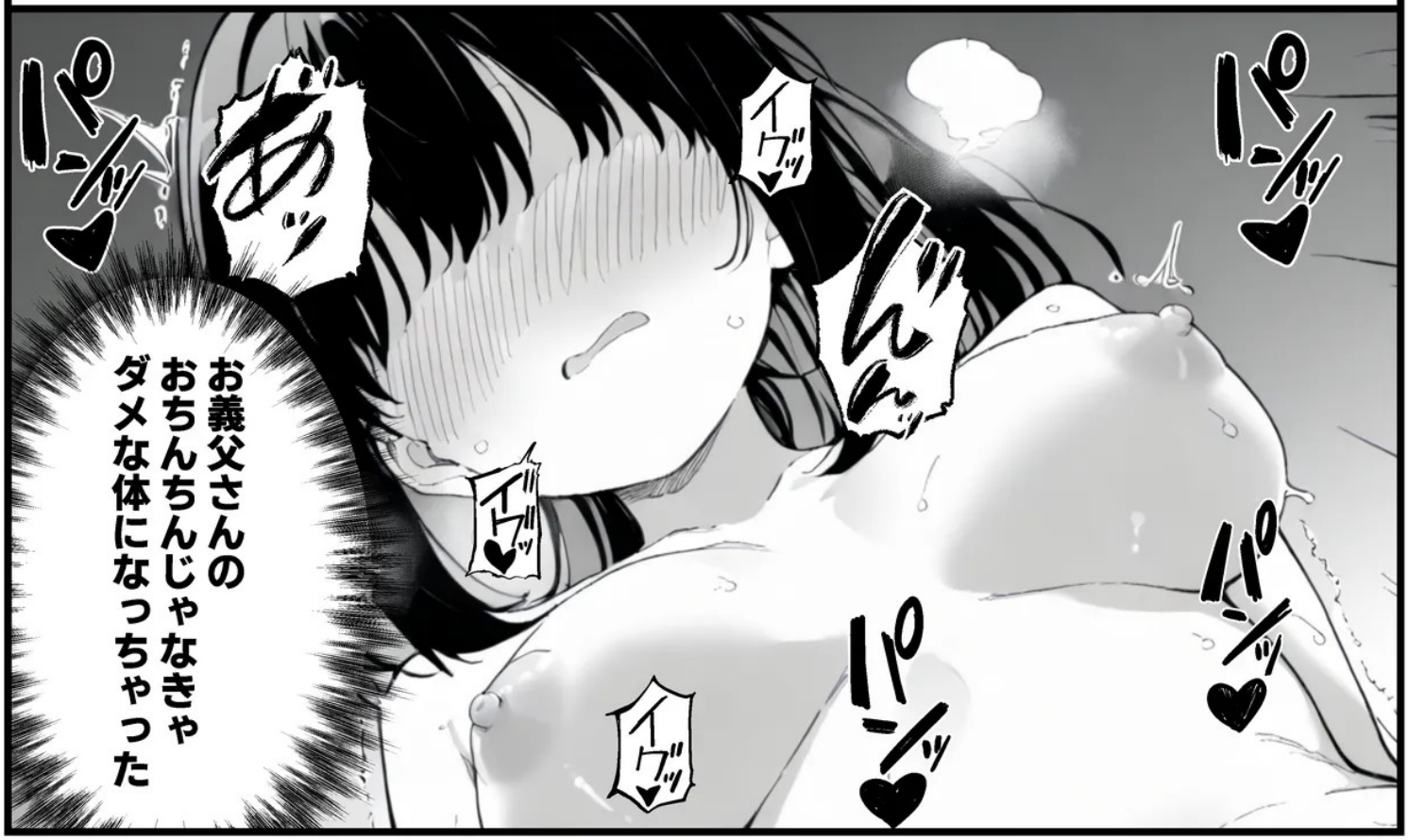
っ、次は私が動くねっ
お、おう
ちょっと目が据わってないか？
ズブッ
ズブッ
ズブッ
パンッ
パンッ

おっ
おっ
おっ
子宮に♥
凄い当たるぅ♥
パンッ♥
パンッ♥
パンッ♥
パンッ♥
どちゅっ♥
どちゅっ♥
おっ♥
おっ♥
おっ♥
お義父さん…
なんか
また…
凄いの
きそう…

それじゃ
もっと深くまで
入れて
ごらん
あぁッ…
ここ…この奥の
コリコリ…したとこ…
すごっ…く…
き、気持ちよくて…
も…もうっ……

あ…あっ…イ…ク…ぅ
んっ♥
ぜく
ビクッ
ビクッ
はっ あっ♥
ビクッ
ビクッ
ビクッ
お…っ
あ゛ッあ゛ッ♡♥
ドチュ
ドチュ
パンッ
パンッ
パンッ
ガクッ
ガクッ
ガクッ
ガクッ
お゛お゛♡♥


ひ、ヒカル…
ごめんッ…
やっぱり…
あぁあ
イヴッ
パンッ


お義父さんの
おちんちんじゃなきゃ
ダメな体になっちゃった
パンッ♥
イヴッ♥

お義父さん…
イクイク
イクイクイク
イグゥゥ♡
ぱちゅ
ぱちゅっ
ぱちゅ
ぱちゅっ
おぉ
おぉぉ
おぉぉぉ♡
おぉぉ♡
きゅうう♡
ビクッ
ビクッ
ビクビクッ
き、気持ち
良すぎて…
意識が…♡

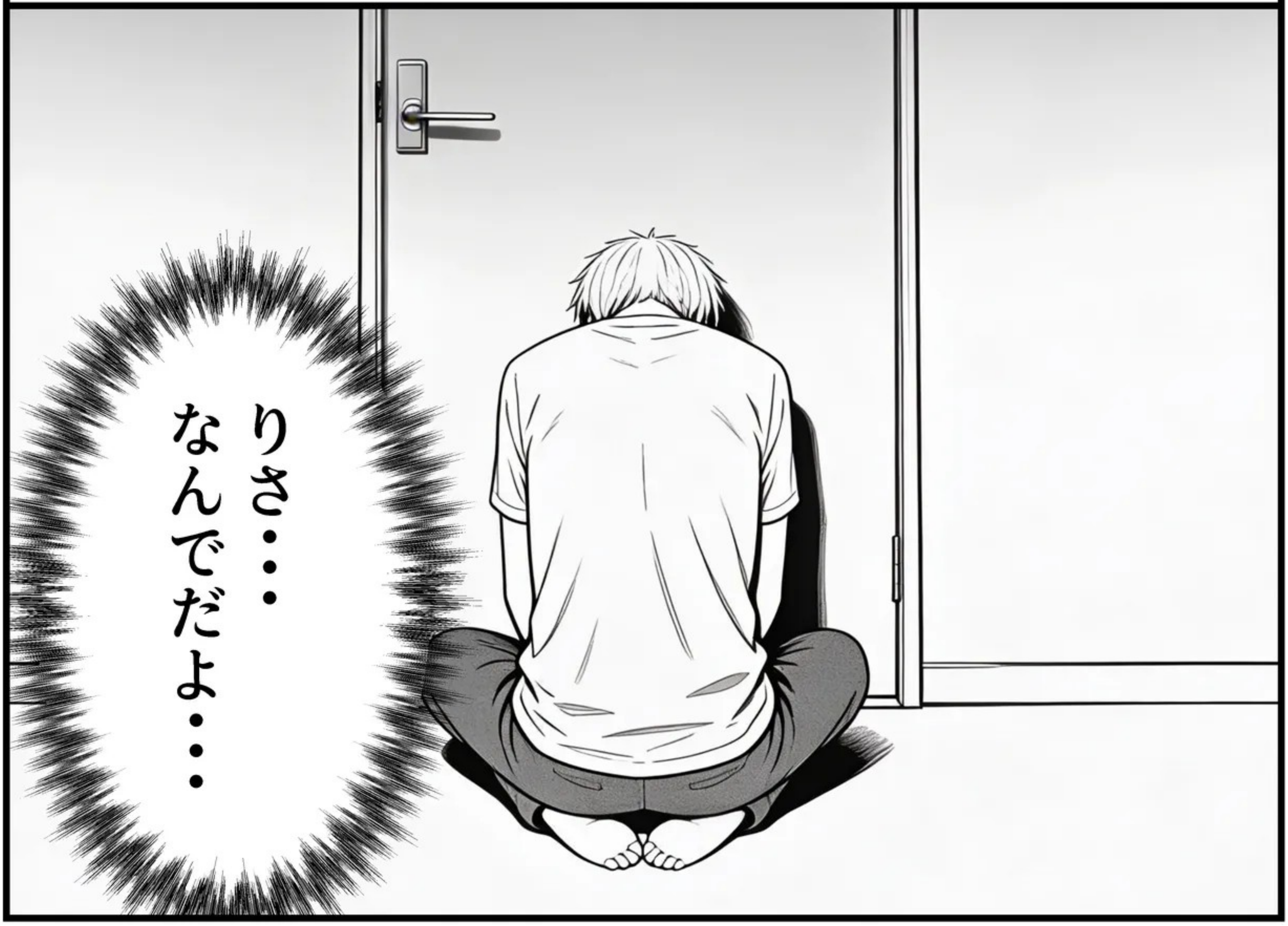
派手にイッたね
次はバックで
しようか♡
お♥
え？
まって…
ちょっと…
休憩ッ…あっ…
何言ってんの？
休んでる暇なんて
ないよ♡
ぱちゅっ♡
ぱちゅっ♡
ぱちゅっ♡
あっ♥
おっ
おぉ
オッ
ヤぁッ
うぁ…
んぅ…っ♥
り、りさ？
今、チンポが子宮に
当たってるの
わかるか？
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
お♥
おぉ～～♥
うんッ♡
わかりゅ♥

まって
優しく…
もっと
優しく…
突いて……
やッ…
……
じゃないと
私っ…
おかしく
なっちゃうッ
おかしくなって
いいんだよ
りさ
イクッ
イクッ
壊れちゃう♥

んおぉぉ
パンッ
グチュッ
グチュッ
パンッ
ビクビクッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
りさ！
イクぞ！
オッ
アッ
あッ
わ…私も…
イクッ…イッ…
イクイクイクッ

おぉ
おぉ
んおぉ
おまんこ
なかだし
されてぃゅ♡
おぉ・・・締まるぅ♡
精子全部絞り
取られちゃうな笑

おまんこ
なかだし
されてりゅ♡
はーーッ
ドクッ
ぱーーッ
ドクッ
ドクッ
ドクッ
おぉ・・・締まるぅ♡
精子全部絞り
取られちゃうな笑


りさ・・・
なんでだよ・・・

おっ
おっっ…
あ、頭おかしくな…なっちゃうッ
ふう
それじゃあ
最後は…
ズボッ
ズボッ
待ってッ…
ま…まだ…
び、敏感…だから…
おおっ♥
ぬちゃっ♡
グチュッ
グチュッ
ぬちゃっ♡
グチュッ
グチュッ
正常位で
イカせまくっちゃう
からなぁ♡

おッ
おぉ
おぉ
おぉ
おぉ♥
ビッ
ビッ
ハーイッ
パーンッ
ビチュ
ビチュ
パーンッ
パーンッ
背中反らして凄いな♡
まってッ♥
ダメダメダメッ!!♥
お♥
おぉ♥
おぉ♥
お♥
お♥
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
パーンッ
パーンッ
イクイク・・・
イク・・・い、イクッ
イグぅぅッ!!
おっっっ♥

りさ？おーい？
おっ♡
おっ♡
おっ…♡
ありゃ意識飛んでるわ笑仕方ないな笑
よいしょ♡
おっ
おっ♡
おっ♡
おっ♡
おっ♡
ぱんっ
ぱんっ
ドチュッ♡
ドチュッ♡
ビクンッ
ぱちゅっ
おっ♡
おっ
おっ…♡
パンッ
パンッ
パンッ
ぐちゅっ♡
ぐちゅっ♡
ぐちゅっ♡

あれ？
私・・・
ビク
ビク
意識
飛んで・・・？
気絶しちゃう
くらいココが
気持ちいいんだな♡
あっ♡
んぶぉ
パンッパンッパンッ
ズッズッ
ズッズッ
子宮が降りてきてる
から簡単にポルチオを
刺激できちゃうぞ♡
グチュッ
グチュッ
グチュッ
んおぉ

ポルチオ気持ちいい？
おっ…♡
き、気持・・ち・・いいッ・・・！
そこ・・・もっとお!!
はははッすっかり気にいったな
パン
パン
パン
パン
奥・・・くりゅくりゅ・・・ヤバッ・・・い・・!!
くりゅ
くりゅ
くりゅ
イクッ♥
イクッ♥
イクッ♥
イクッ♥

おぉッ・・・
また意識・・・
とびゅ♥

あッー・・・
イク・・・イクぅ・・
い、イクッ・・・
お義父・・さん・・・
い・・き・・まッ・・・

んおおおお
ガクッガクッ
イグイグイグ
あぁ
ヘコヘコヘコ
ビクッ♡
おぁ
ビクッ♡
おぁ

こ・・こん・・
なの・・・
知らな・・
イッ・・・
お♡
お♡
お♡
お〜♡
ビクッ
ビクン
ふぅー
めちゃくちゃ
出たぁ♡
りさ
ありがとな♡
は〜
ぞくぞくっ
ウリがすづっっ♡
すとおっっ♡
おぉ♡
は〜
って・・・
聞こえてないか笑

うわぁ
ちょっと
出し過ぎた・・・
子宮…
いっぱぁい♡
これは
流石に・・・
妊娠・・・
いやっ
大丈夫か笑

クソックソッ
なんで!!
なんで……
すぐ近くにいるのに
何もできない…
うッうううう
俺って
本当に…
ひぐッ
ダセぇよな…

りさ・・・
どうだった？
すっごく
気持ち良かった・・・
・・・うん

だよな
何回も意識
飛んでたもんな笑
ううっ
言わないでっ
なぁりさ
提案があるんだけど
え？
お義父さんの
お友達と・・・？
嫌だよ・・・
私そんなん
じゃないから

今日のセックス
凄く良かっただろ？
ずぷっ
……
こんなのと
比べものに
ならないくらい
もっと
気持ち良く
なれるぞ？
今日の…
より…？
え…？
りさ
お前が今想像
している快楽
なんて目
じゃないぞ
す
す

俺たちがお前に
真の快楽を・・・
教えてやる
ドキッ

その後
りさとの連絡は
完全に途絶えた

だけど
まさか、あんな形で
再会することになるなんて
この時の俺は想像もして
いなかった・・・・・

To Be Continued...